

台風19号 町への影響について報告します

環境安全課 ☎(64)7708

台風19号は、10月12日午後6時に最も群馬県に接近し、烏川の源流部と利根川源流部に大雨をもたらしました。玉村町では午前7時頃から雨が降り出し、時間を経過するごとに雨、風とも強くなりました。

玉村町に与えた影響

○烏川

12日の雨の降り始めから13日の午前0時頃までの烏川流域平均雨量が395ミリに達し、それに伴って玉村町直近の岩鼻観測所の水位も上昇し続けました。12日午前10時30分頃に水防団待機水位の1.00mに達し、その後、午後4時に氾濫注意水位の3.30m、午後10時には避難判断水位4.10mを超える4.17mを記録し、最高で4.19mまで水位が上がり

ました。堤防を越えて洪水が発生することはありませんでしたが、水位の上昇により烏川の五料地内を流れる矢川が溢れ、付近の住宅や工場などが浸水しました。



川井沼へ続く道路では柵が大量の水とゴミでなぎ倒された

降り始めからの玉村町の総雨量(八斗島観測所)	
12日 午前7時～13日午前0時まで / 255ミリ	
烏川の最高水位(岩鼻観測所)	利根川の最高水位(上福島観測所)
12日 午後11時 / 4.19m	12日 午後11時10分 / 8.41m
(昭和22年 カスリン台風5.50m) (同左8.88m)	



増水した烏川(岩倉橋から下流を撮影)



水に浸かってしまった室外機(五料)

○利根川

12日の朝は、上流部の降雨が少なく、上福島水位観測所の水位も12日の夕方までは通常時とほぼ同じで推移していましたが、午後5時頃から水位が上昇を始めました。12日の午後7時に水防団待機水位2.5mを超えた後は、午後8時までの1時間に2m近く水位が増え4.18mを記録し、3.7mの氾濫注意水位を一気に超えました。午後9時までの1時間も1時間で2m以上水位が増えて、氾濫危険水位の5.24mを超える6.22mになり、午後10時30分を過ぎたときには最高水位

8.41mに到達しました。烏川と同様、堤防を越えて洪水が発生することはありませんでしたが、上福島地内の水路が利根川の水位上昇により流れづらくなったために、小さな水路が溢れ、床下浸水の被害がありました。

○玉村町の災害対応記録

町では台風19号に備え、12日の午前10時に保健センターと文化センターを自主避難所として開設しました。また、介護が必要な人や一人暮らしの高齢者のために老人福祉センターを福祉的な一時避難所として開設しました。



増水した利根川(玉村大橋から上流を撮影)

当初は利根川の増水を想定して避難所を開設しましたが、烏川の増水が早く、B&G海洋センター、社会体育館、芝根小学校体育館、中央小学校体育館、上陽小学校体育館、玉村小学校体育館を緊急避難場所として追加開設しました。あわせて1,571人が避難

し、不安な夜を過ごされました。台風19号による人的被害や大規模な建物被害、停電や断水は幸い発生しませんでした。水路等が溢れることによる浸水被害が町内の一部で発生してしまいました。

玉村消防署と玉村町消防団は、豪雨と強風の中、避難者誘導や避難所への移送、広報などの水防活動を行いました。

○台風19号の教訓

台風19号は、過去10月に上陸した台風の中でも類を見ない勢力のまま上陸し、移動するスピードもゆっくりだったために、雨が長く降り続き、東海、関東、東北地方に歴史的な被害をもたらしました。

○町民の皆さんへ

台風19号により被害にあわれた皆さんには心よりお見舞い申し上げます。皆さんの日頃の備えにより、町では大きな被害を避けることができました。

しかしながら、今後も地球温暖化などの影響により、台風が大型化して上陸することが多くなると思われます。町では皆さんの安全と安心を守るため、災害への備えを整えてまいります。住民の皆さんは日頃から食料や水の備蓄や非常用持ち出し品のチェック、家族内で防災会議を開くなど「自分の命は自らが守る」を合言葉として防災意識を高めてください。

また、地域で行う防災訓練などへ積極的に参加して、地域内で助け合う環境を整えてください。



折れてしまった案内板(東部スポーツ広場)



一部が冠水した道路(上福島)